

サーモスタットデックバスシャワー混合栓施工説明書

キアラ

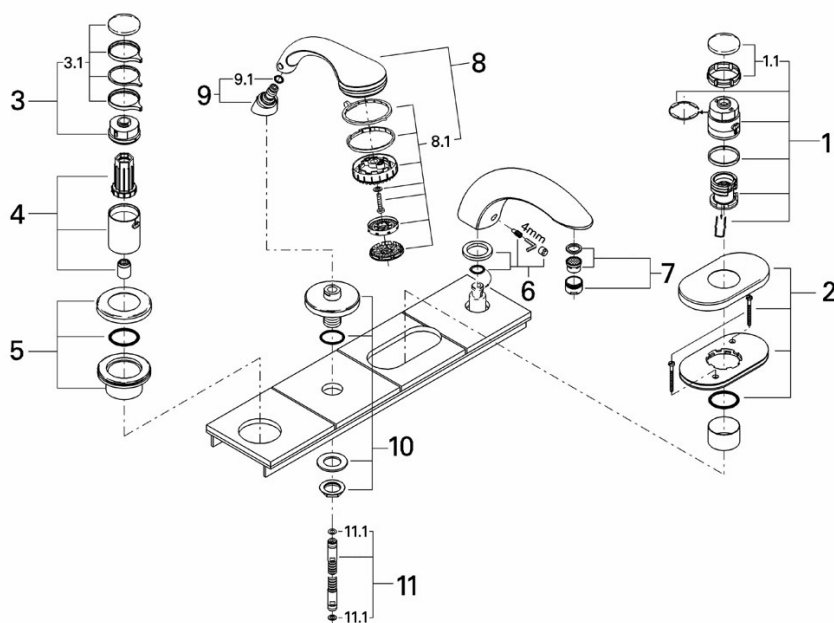
一般地用
19623

寒冷地用

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
1	温調ハンドル
1.1	キャップ
2	フランジセット
3	開閉ハンドル
3.1	キャップ
4	切替ボタンセット
5	フランジセット
6	固定ビスセット
7	エアレーター(シストラ)
8	シャワーヘッド
8.1	散水板セット
9	ニップル
9.1	Oリング
10	シャワーホルダセット
11	ホース
11.1	ホースパッキン

※カウンター穴あけ寸法は付属のテンプレートを使用して行ってください。カウンター厚 15mm 以下。

安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.05Mpa [0.5kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。

※給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.05Mpa [0.5kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

レバーハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C m²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

- 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

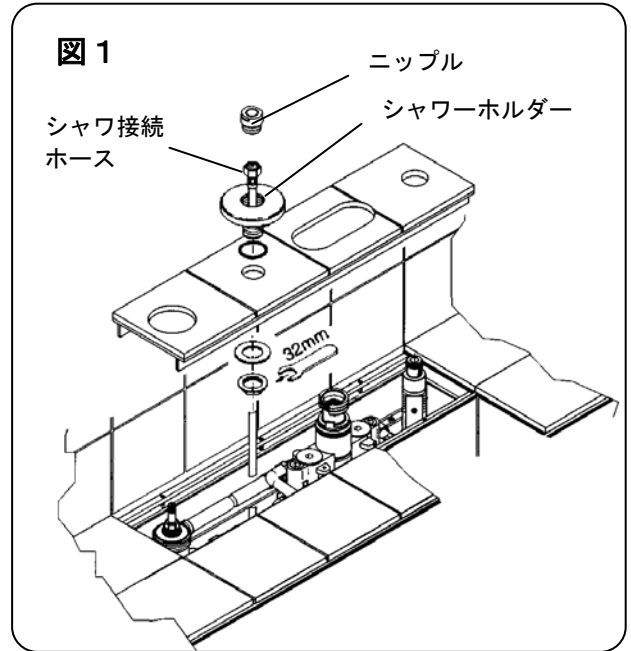
施工前の注意

- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
- 給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
- 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。
- 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。
- 配管接続部を隠ぺいしないでください。水切棚に取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。
- 給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

施工手順

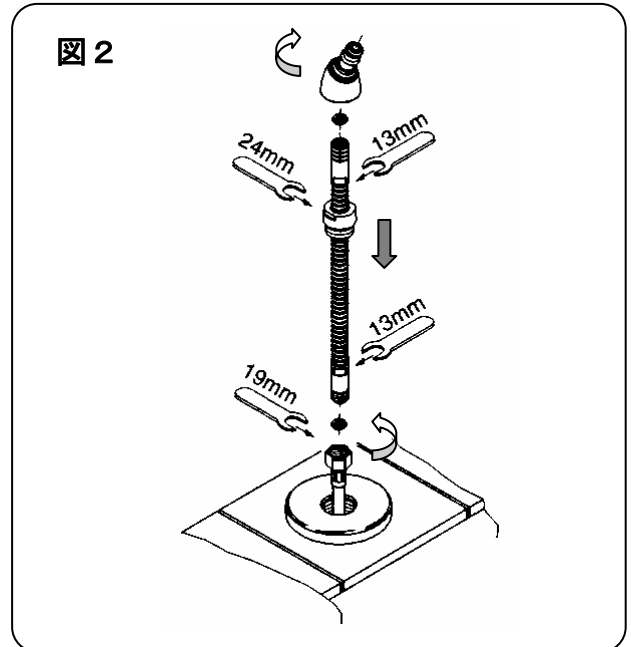
1. シャワーホルダーの取り付け (図1参照)

- ①デッキプレートに化粧カバー19623のシャワーホルダーを工具(32mmスパナ)で取り付けます。
- ②シャワーホルダーのニップルを工具(24mmスパナ)で取り外します。
- ③埋込ボックスのシャワ接続ホースをシャワーホルダーの穴に通します。
- ④デッキプレートと仕上面の隙間をコーキング等でシールします。
※シャワ接続ホースは埋込ボックス内部に戻らないように、テープ等で仮止めしてください。



2. ホースの取り付け (図2参照)

- ①ホースを工具(13mmスパナ)で固定し、シャワ接続ホースの袋ナットを工具(19mmスパナ)で右回しにねじ込みます。
- ②ホースにシャワーホルダーのニップルを差し込みます。
- ③ホースを工具(13mmスパナ)で固定し、シャワーニップルを手で右回しにねじ込みます。
※確実に締め付けてください。

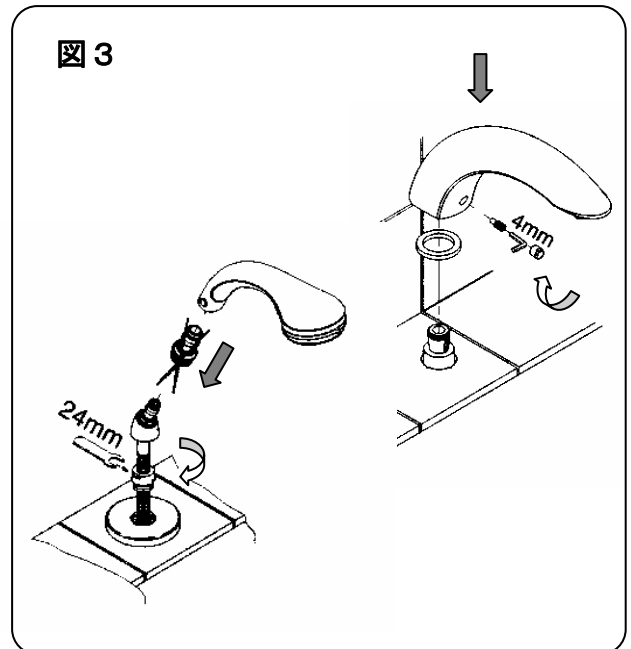


3. シャワーの取り付け (図3参照)

- ①シャワーホルダーにニップルを工具(24mmスパナ)で右回しにねじ込みます。
- ②シャワーヘッドのボタンを押してニップルを引き抜きます。
- ③シャワーホルダーのニップルにシャワーヘッドを手で差し込みます。
※シャワーヘッドに付属しているニップルは必要ありません。

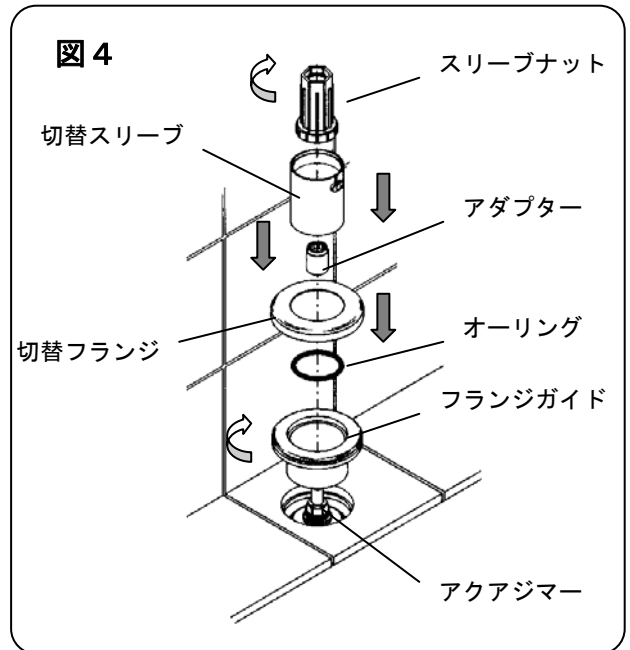
4. 吐水口の取り付け (図3参照)

- ①吐水口ニップルのオーリングにグリスを塗ります。
- ②ニップルにパッキン、吐水口を手で差し込みます。
- ③吐水口に固定ビスを工具(4mm六角レンチ)で右回しにねじ込みます。
- ④固定ビスに化粧ナットを工具(10mmスパナ)で右回しにねじ込みます。
※固定ビスの位置はニップルの溝の範囲以内になります。



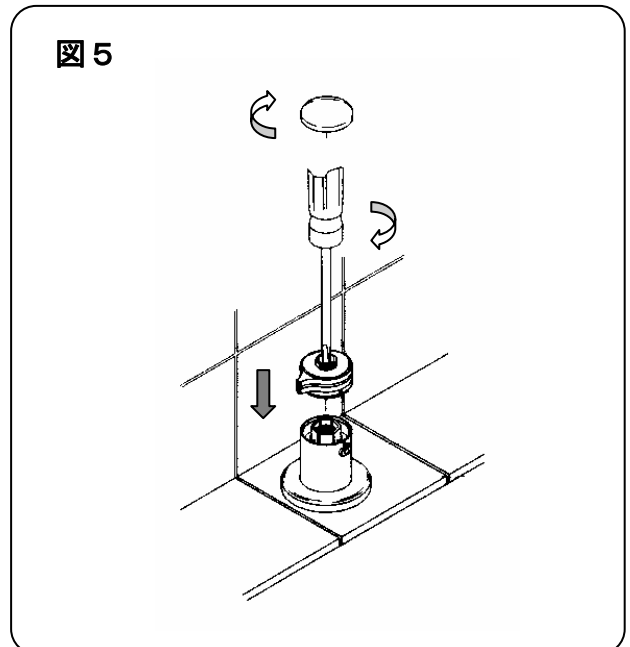
5. 切替ボタンの取り付け (図4参照)

- ① アクアジマーに切替フランジセットのガイド部分を手で右回しにねじ込み、最後に外側の溝をマイナスドライバー等で回し、完全に締め付けます。
- ② ガイド部分の内側にオーリング、外側にフランジを手ではめ込んでください。
- ③ 切替フランジセットに切替ボタンスリーブを手で差し込み、切替ボタンが手前に向くようアクアジマーの溝に合わせ差し込んでください。
- ④ アクアジマーのスピンドルにアダプターを手で差し込んでください。
- ⑤ アクアジマーにスリーブナットを工具 (2.7mmスパナ) で右回しにねじ込みます。
 ※フランジ、スリーブが入りづらい場合は、オーリングにグリスを塗ってください。
 ※切替ボタンの位置は手前正面になりますが、構造上多少ずれることもあります。



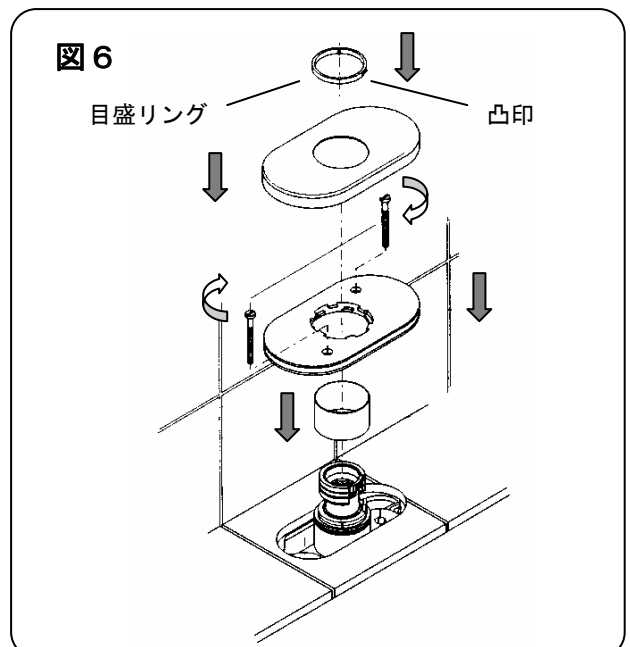
6. 開閉ハンドルの取り付け (図5参照)

- ① アダプターを右回しに最後まで回してください。
- ② 開閉ハンドルのレバー部が向かって左になるようアダプター (アクアジマー) に差し込みます。
- ③ アクアジマーに開閉ハンドル内部の取付ビスをドライバー等で右回しにねじ込みます。
- ④ 開閉ハンドルにキャップを手で右回しにねじ込みます。
 ※取付後、開閉ハンドルは手前正面になるよう左に回してください。(止水の位置になります)



7. フランジ、スリーブの取り付け (図6参照)

- ① サーモスタットにスリーブを手で差し込んでください。
- ② スリーブにフランジのガイド部分を手で差し込んでください。
- ③ ガイド部分の両側に付属の取付ビスをドライバー等で右回しにねじ込み、サーモスタットに固定してください。
- ④ ガイド部分の外側にフランジを手ではめ込んでください。
- ⑤ 目盛リングのが手前に向くようサーモスタットのストッピングの溝に合わせ差し込んでください。
 ※フランジ、スリーブが入りづらい場合は、オーリングにグリスを塗ってください
 ※目盛リングには上下があります。(切り溝が下側)必ずストッピングの溝に合わせてください。



8. 温度設定の調整 (図7参照)

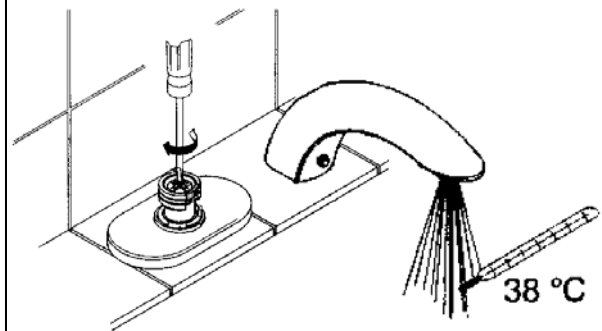
吐出温度と温度ダイヤルの数字が合わないときは、以下の方法で温度設定を調整してください。

- ①開閉ハンドルを全開し、吐出温度を測定してください。
- ②温調インサートを、38℃の温度が得られる位置までドライバー等で左右に回してください。

適温が得られない場合は、以下の原因が考えられます。

- 熱湯と水にしかない。逆配管である。
- 熱湯か水しか出ない。サーモスタットのごみづまり。
- 適温からしばらくすると水になる。水圧が異常に高い。
- 適温にならない。給湯温度が低い。

図7

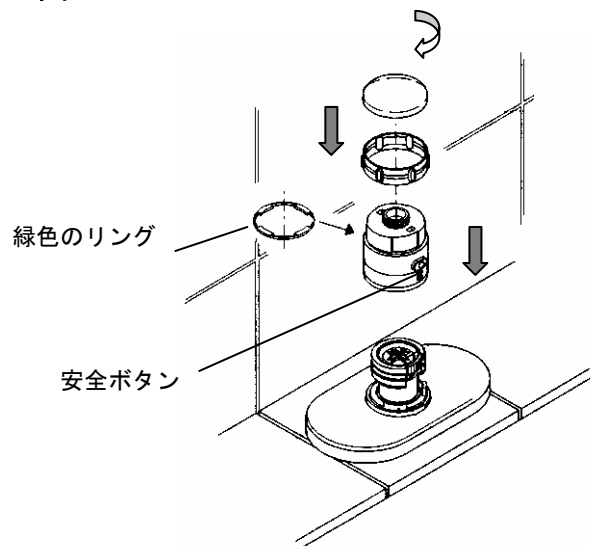


9. 温度ダイヤルの取り付け (図8参照)

温度ダイヤルのキャップを手で左回しに取り外し、化粧リング、「緑色のリング」を引き抜きます。

- ①ストップホルダーに温度ダイヤルの安全ボタンが手前になるよう手で差し込んでください。
- ②温度ダイヤルの切り溝に「緑色のリング」を手で少し開きながら、はめ込みます。
- ③温度ダイヤルに化粧リングを手で差し込みます。
- ④温度ダイヤルにキャップを手で右回しにねじ込みます。
※「緑色のリング」は開きすぎによる破損に注意してください。
※化粧リングと「緑色のリング」が接触するときは、「緑色のリング」を少しずらして温度ダイヤルの切り溝にきちんとはめ直してください。

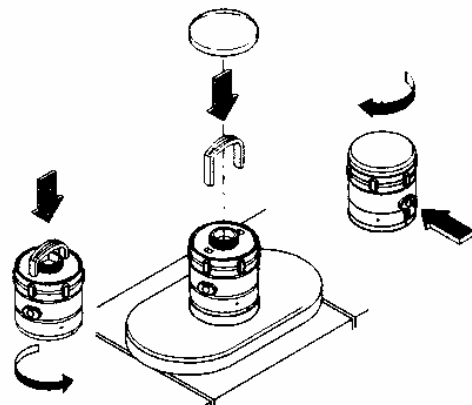
図8



10. 危険防止リミッター設定方法 (図9参照)

- ①温度ダイヤルの安全ボタンを押して、右回しで高温側にしてください。
- ②温度ダイヤルのキャップを手で左回しに取り外し、キャップの中部にあるU字形の工具を取り外してください。
- ③温度ダイヤル左右の穴にU字形の工具を手で差し込みながら、左回しでご希望の低温側にしてください。
- ④危険防止の温度に設定したら、U字形の工具を抜いてください。
- ⑤キャップにU字形の工具を戻し、温度ダイヤルを手でしっかり握りキャップを右回しに取り付けてください。
※吐水の必要はないので、閉栓しておいてください。
※工具はプラスチックですので、取り扱いには注意してください。
※工具を差し込んで回す時に音ができる場合がありますが、故障ではありません。

図9



取り付け後の確認

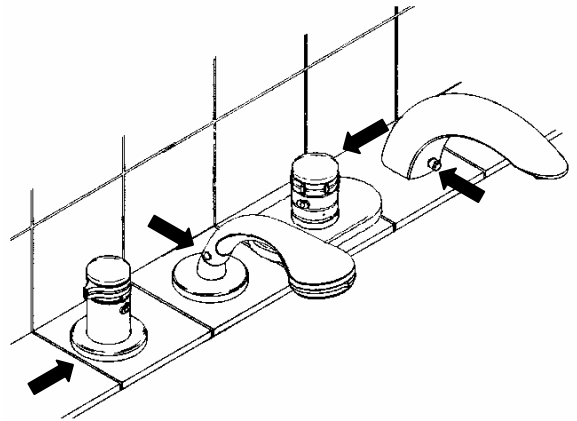
取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

1. 接続部の水漏れ (図 10 参照)

吐水、止水を数回くりかえした後、図 10 の箇所を点検します。

- 温度ダイヤル接続部。
- 開閉ハンドル接続部。
- 吐水口接続部。
- ホースとシャワーの接続部。

図 10



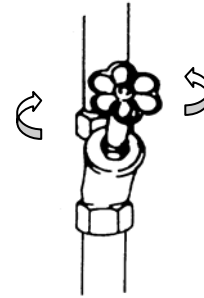
2. 水量・湯温の調節 (図 11 参照)

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

- 熱湯と水にしかならない。配管である。
- 熱湯か水しか出ない。サーモスタットのごみづまり。
- しばらくすると水になる。水圧が異常に高い。

図 11



故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

6 シャワー
ホースの引っ掛かり
はないか

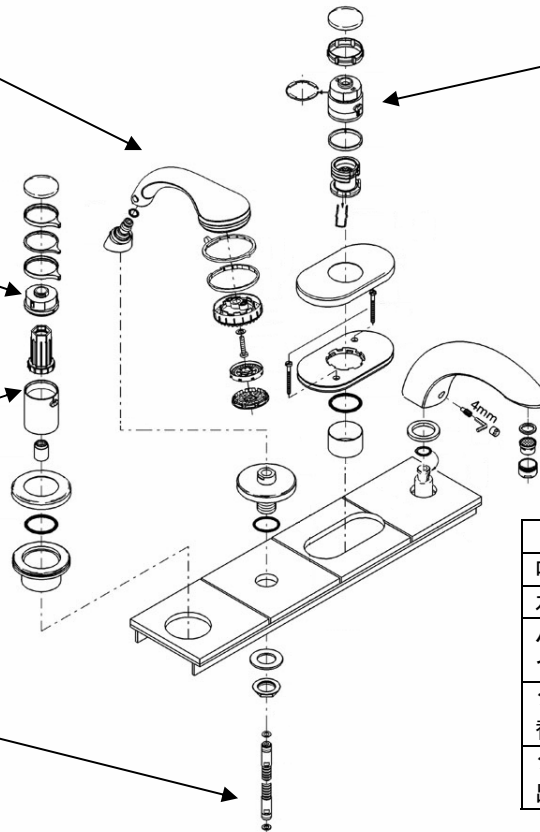
4 ハンドル止ビス
十分に締め付けて
あるか

5 切替ボタン
破損・締めゆるみは
ないか

1 ホース
破損・締めゆるみは
ないか

3 温調ハンドル
きちんと取り付け
てあるか

2 泡沫器
ゴミづまりはないか



現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2
水が止まらない	5
ハンドルがガタつく	3. 4
シャワーに切り替わらない	5
シャワーが取り出せない	6